

CO・OP共済の掛金で作る「もうひとつ」の使い道

「たすけあい活動助成金」で 組合員活動を **サポート**

パルシステム共済連は、組合員とその家族の“もしも”のときだけでなく、“いつも”の暮らしのお手伝いにも力を入れています。
 そのひとつが「たすけあい活動助成金制度」による組合員活動のサポートです。
 毎年助成金を利用し、健康維持活動等のさまざまな活動がパルシステムの組合員の手で実施されています。
 今回はそのいくつかを紹介します。（「たすけあい活動助成金制度」については次のページで紹介しています）

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020年度に実施予定だったたすけあい活動助成金を利用した企画は2020年6月現在すべて延期・中止になっています。今回ご紹介している各活動はすべて2018・2019年度に実施されたものです。

パルシステム
 千葉

女性がん患者のための患者会

●健康維持活動 2019年8月～2020年1月開催

パルシステム千葉の自主的活動グループのひとつ「ウィメンズブレイクタイム」は、病気になっても自分らしく生きようとする女性のために、悩みを分かち合い安心して情報交換ができる場所を提供する活動を行っています。2019年度は助成金を活用した「女性がん患者のためのリハビリヨガ」を3回実施しました。



「女性がん患者のためのリハビリヨガ」の様子

参加した方の感想

体験を語り合うのも
 心強さをいただけてよいものですが、
 それ以上に実技の会は楽しいです

初めてのヨガでしたが、
 リラックスして
 心も体も開放されていくようでした

治療を終え、
 最初の一步が踏み出せないなか、
 今日のレッスンは勇気を与えてくれました

パルシステム
東京

グリーンジム ～竹林の整備で健康づくり～

●健康維持活動

農業体験や環境保全を学ぶ場としてパルシステム東京が所有する「いなぎめぐみの里山」内で、講師の指導のもと、竹の伐採や道づくりなど竹林の整備を通じた健康づくりを体験します。

※2020年度からは「たすけあい活動助成金」企画になりました。

参加した方の感想

ナタの振り下ろしとか、
中腰の作業とか、
日ごろ使わない
筋肉を使いました

こんなに作業が大変だとは
知らなかったので、
ハイキングとかに行くとは
“山の道”のありがたみが
分かりました



2018年の活動の様子

たすけあい活動助成金制度とは。

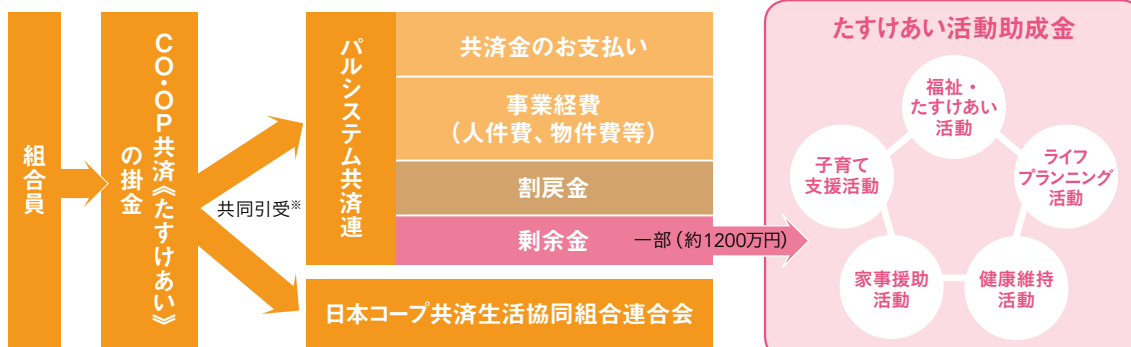
CO・OP共済《たすけあい》の掛金は、自分や他の組合員の“もしものとき”の共済金となるほか、掛金から生まれる剰余金の一部は組合員活動への助成金として有効活用。さらに大きな「たすけあいの輪」が広がっています。

「たすけあい活動助成金」のしくみ

「たすけあい活動助成金」は、組合員からお預かりしたCO・OP共済《たすけあい》の掛金から生まれる剰余金の一部を活用した制度です。

「健康維持」や「ライフプランニング」「子育て支援」といった、組合員が地域で行う活動を資金面でサポートしています。

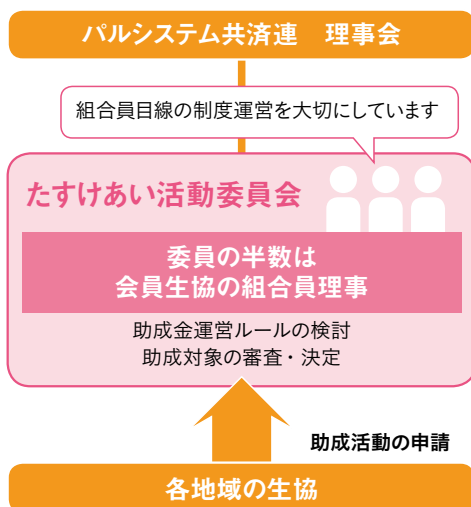
2011年度から2019年度までの9年間で合計約8,719万円の助成を行いました。



※「共同引受」…複数の元受団体（共済者）が、共同して共済契約を引受ける事をいいます。再保険や再共済とは異なり、各団体は共済契約者に対し、それぞれの引受割合（額）に応じた共済責任を単独個別に持ちます。

助成活動は組合員が審査・決定

助成する活動は年度ごとに、各生協から申請があった活動を、組合員理事らで構成されている「たすけあい活動委員会」で審査しています。申請された活動内容や助成金額などが、委員会で定めている目的や用途、ルールに当てはまっているかどうか委員同士で意見を出し合い、助成の可否を決定しています。



● たすけあい活動助成金の承認
最終的には、パルシステム共済連の総会で剰余金処分案として教育事業繰越金の中に入れて提案し、承認を受けて実施します。

● たすけあい活動委員会
助成金の運用ルールの検討や、助成する活動の審査・決定を行っている、パルシステム共済連の理事会の下に設置された委員会です。

「たすけあい活動助成金」2019年度のご報告

2019年度は87件の活動に対して、合計約985万円の助成を行いました。また、活動には15,341名の方が参加されました。

生協名	助成金額(円)	延べ参加者数(名)※
パルシステム東京	1,404,923	7,083
パルシステム神奈川ゆめコープ	1,455,340	1,237
パルシステム千葉	1,148,068	2,181
パルシステム埼玉	1,065,795	548
パルシステム茨城 栃木	1,371,000	1,638
パルシステム山梨	771,343	645
パルシステム群馬	520,259	337
パルシステム福島	672,802	494
パルシステム静岡	601,860	182
新潟ときめき生協	840,140	996
合計	9,851,530	15,341

※パルシステムの組合員だけでなく、広く地域住民の方にもご参加いただいています。

ささえあい・学びあい・たすけあい

CO・OP共済はこのような商品です。

組合員どうしの助け合いの心を形に。

普段から少しずつお金(掛金)を出し合って、病気や事故などの不幸があったときに、集まったお金の中から一定額を出して助け合う。そんな助け合いの心をカタチにしたのがCO・OP共済です。

組合員の声や要望が反映された生協の商品のひとつとして、食品や日用品だけでなく保障でもくらしをサポートしています。

加入者が増えることで、 保障内容がよくなりました。

1984年にCO・OP共済《たすけあい》がスタートしてから今日まで、加入者の輪が広がることで保障内容がよくなりました。例えば、2016年度にはジュニアコースの満期年齢が満18歳から満20歳までに延長され、ジュニアコースすべての加入者に反映されました。

今では全国で849万人[※]以上の方が加入しています。

※2020年3月20日時点でのCO・OP共済(元受)の合計加入者数

お支払いするのが目的。 「共済金請求忘れゼロ運動」

お支払いするのが目的。だから「共済金の請求を忘れていませんか?」「ちょっとしたケガでも、病院に行ったことはありませんか?」とこちらからお声掛けしています。



Information

—新型コロナウイルス感染拡大防止のために—

2020年度 たすけあい活動助成金企画について

たすけあい活動助成金企画の申請と審査は、例年3月、各地生協の組合員理事と担当職員が東京都新宿区のバルシステム共済連本部に集まり実施しています。今年は3月から新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環としてバルシステムでは「県を越える移動制限」を行っていたため、3月に予定していた例年通りの形での審査を断念。去る2020年5月12日に、各地の生協本部とバルシステム共済連本部をインターネット会議システムで繋ぎ、2020年度の助成金企画の審査を行いました。

しかし、今年度は状況により、多くの企画の開催中止が想定されます。その場合は使用しなかった助成金は返金するルールとなっています。

助成金企画の多くには、組合員・地域の方々とのイベントや学習会、講演会を通じ「人と人による交流、たすけあい、ささえあうことの大切さ」をあらためて広げよう!というメッセージも込められています。

どのような時代や状況になっても共助の精神と共生の社会はなくなると信じ、今後新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたとしても、たすけあい活動委員会としては状況に応じた組合員活動の形態や方法を検討し、共済の根幹でもある「互いの助けあい(相互扶助)」を軸に「活動」「事業」を前進させていきます。



たすけあい活動委員会 事務局
バルシステム共済連管理部(左から渡辺、井上、乙黒)